

3年

評価規準の例における数字は、下記の評価の観点を示しています。
1…音楽への関心・意欲・態度
2…音楽表現の創意工夫
3…音楽表現の技能
4…鑑賞の能力

(P.00) は「中学生の音楽2・3下」のページ数を示しています。
 (器楽 P.00) としているものは「中学生の器楽」のページ数を示しています。

題材名	題材のねらい
日本の歌の美しさ	歌詞にこめられた思いや、音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを理解して表現を工夫する。

扱い時数のめやす
2時間

教材名	学習の目標	指導事項	目標に関わる主な窓口〔共通事項〕
花〈心の歌〉(p.4)	歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫しよう。	歌唱ーア・イ	リズム、旋律、強弱
花の街〈心の歌〉(p.12)	詩や曲がつくられた背景を理解して、曲にこめられた思いを表現しよう。	歌唱ーア・イ	旋律、強弱、音色

評価規準の例	
歌唱	
1	歌詞が表す情景や心情、歌詞の成立の背景、曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
2	リズムや強弱など、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
3	歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。

題材名	題材のねらい
曲種に応じた歌い方の工夫	楽曲の特徴を感じ取り、それにふさわしい発声や歌い方を工夫して歌唱表現をする。

扱い時数のめやす
3時間

教材名	学習の目標	指導事項	目標に関わる主な窓口〔共通事項〕
L-0-V-E (p.16)	曲の感じに合った声で、リズムを工夫して歌おう。	歌唱ーイ	リズム、旋律、強弱、音色
ここが分かれば Grade up! (p.17)	言葉によって変化するリズム	歌唱ーイ	リズム、旋律、強弱、音色
上を向いて歩こう (p.18)	曲の感じに合った歌い方や発音を工夫しよう。	歌唱ーウ	旋律、テクスチャ

評価規準の例	
歌唱	
1	曲の特徴や、歌詞とリズムとの関係に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
2	リズムなどの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって歌っている。
3	曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。

題材名	題材のねらい
リズムパターンで構成する音楽の楽しみ	リズムパターンに関心をもち、パターンどうしを組み合わせで演奏したり、全体のまとまりを工夫しながら音楽を構成したりする。

扱い時数のめやす
5時間

教材名	学習の目標	指導事項	目標に関わる主な窓口〔共通事項〕
テキーラ（器楽 p.54）	曲の構成を生かしてリズム伴奏を工夫しよう。	器楽ーウ（創作ーイ）	リズム、テクスチャ、形式・構成、音色
打楽器のための小品（器楽 p.78）		器楽ーウ	リズム、テクスチャ、形式・構成、音色
Let's Create！（p.27）	楽器を使って、2人のやりとりをアンサンブルにしてみよう。	創作ーイ（器楽ーイ）	リズム、テクスチャ、形式・構成、音色

評価規準の例	
器楽	
1	曲の構成や変化に関心をもち、それに合うリズムパターンを工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。
2	リズムパターンや伴奏のリズムの特徴を知覚し、それらによる構成や音の重なりが生み出す特質や雰囲気を感じながら、楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
3	楽器の特徴、基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて演奏している。
創作	
1	会話のイメージをアンサンブルにすることに関心をもち、リズムパターンやそれらを重ねることによってイメージを音楽で表現する学習に主体的に取り組もうとしている。
2	楽器の音色やリズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのようにアンサンブルをつくるかについて思いや意図をもっている。
3	音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて音楽をつくっている。

題材名	題材のねらい
世界各地の楽器の音楽	諸外国の音楽に接し、それらの味わいを支えている音色や旋律、リズムなどを感じ取り、楽器の特徴を理解して聴く。

扱い時数のめやす
2時間

教材名	学習の目標	指導事項	目標に関わる主な窓口〔共通事項〕
世界の諸民族の音楽 (p. 38)	世界各地の楽器の演奏を味わおう。	鑑賞ーウ	リズム、旋律、テクスチャ、音色

評価規準の例	
鑑賞	
1	楽器の特徴や音色に関心を持ち、それらによる音楽の味わいの違いを感じ取って鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
4	楽器の特徴や音色を知覚し、それらによる音楽の味わいの違いを感じ取って聴いている。

題材名	題材のねらい
ポピュラー音楽の魅力とその表現の工夫	さまざまなポピュラー音楽について、それらを形づくっている音楽の要素を感じ取りながら鑑賞したり、表現の工夫に生かしたりする。

扱い時間のめやす
4時間

教材名	学習の目標	指導事項	目標に関わる主な窓口〔共通事項〕
ポピュラー音楽 (p. 40)	ポピュラー音楽を聴いて、その特徴を味わおう。	鑑賞ーウ	リズム、旋律、テクスチャ、音色
トリスターザ (器楽 p. 66)		器楽ーア・ウ	リズム、旋律、テクスチャ、強弱、速度、形式・構成、音色
コンドルは飛んで行く (器楽 p. 68) 他		器楽ーア・ウ	リズム、旋律、テクスチャ、強弱、速度、形式・構成、音色

評価規準の例
鑑賞
1 さまざまなポピュラー音楽を聴き比べて、音楽を形づくっている要素や構造の働きが生み出す曲想の違いに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
4 リズム、旋律、テクスチャ、音色などの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、諸要素や構造と曲想との関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
器楽
1 曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。
2 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて演奏するかについて思いや意図をもっている。
3 声部の役割と全体の響きとの関わりを生かして、曲想にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身につけて演奏している。

題材名	題材のねらい
名曲の鑑賞とプレゼンテーション	音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの動きが生み出すよさやおもしろさなどを感じ取り、楽曲の特徴や演奏のよさを言葉で表してコミュニケーションをとる。

扱い時数のめやす
4時間

教材名	学習の目標	指導事項	目標に関わる主な窓口〔共通事項〕
ブルタバ（モルダウ）（p.28）	オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取る。	鑑賞ーイ	旋律、テクスチャ、速度、音色
白鳥の湖／フィガロの結婚（p.32）	曲のよさをプレゼンテーションしてみよう。	鑑賞ーア	リズム、旋律、テクスチャ、強弱、速度、音色

評価規準の例	
鑑賞	
1	音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
1	音楽の特徴とその背景となる歴史に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
4	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、諸要素や構造と曲想との関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評したり、友達に紹介するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
4	音楽の特徴をその背景となる歴史と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。

題材名	題材のねらい
日本の心、イタリアの心を表す歌の味わい	調や速度、強弱などの音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す歌の味わいや歌詞との関連を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫する。

扱い時数のめやす
3時間

教材名	学習の目標	指導事項	目標に関わる主な窓口〔共通事項〕
帰れソレントへ (p. 20)	調や速度の変化を生かした表現を工夫しよう。	歌唱一ア	旋律、速度、音色
早春賦〈心の歌〉 (p. 24)	強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。	歌唱一ア	強弱、形式・構成

評価規準の例	
歌唱	
1	調や速度、強弱などの音楽を形づくっている要素に関心をもち、それらを生かした曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
2	調や速度、強弱などの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
3	歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。

題材名	題材のねらい
日本の伝統音楽の味わい	雅楽や能の特徴について、様式を含めて理解し、それらの特質や魅力を味わって聴く。

扱い時数のめやす
2時間

教材名	学習の目標	指導事項	目標に関わる主な窓口〔共通事項〕
平調「越天楽」(p. 34) / 羽衣 (p. 36)	日本の伝統音楽に親しもう。ー雅楽と能の音楽ー	鑑賞ーイ・ウ	リズム、旋律、テクスチャ、速度、音色

評価規準の例	
鑑賞	
1	音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
4	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。

題材名	題材のねらい
混声合唱へのステップ —さまざまな曲想の表現—	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。

扱い時数のめやす
10時間

教材名	学習の目標	指導事項	目標に関わる主な窓口〔共通事項〕
風の中の青春 (p.10)	曲のしくみを理解して表現を深めよう。	歌唱ーウ	旋律、テクスチャ、強弱、形式・構成
自由への讃歌 (p.22)	強弱の変化を生かして合唱しよう。	歌唱ーア・イ・ウ	テクスチャ、強弱、形式・構成、音色
ふるさと〈全校合唱〉 (p.48) / 心通う合唱 (p.50~64)		歌唱ーア・イ・ウ	リズム、旋律、テクスチャ、強弱、速度、形式・構成、音色

評価規準の例	
歌唱	
1	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
2	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
3	歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。